

福嶋の教育

教育の先覚者

福嶋では、教育が何時ごろから組織的に実施されたのであろうかと言ふと、

弘化二年（一八四七）

犬丸屋太郎右衛門が習字を教えた、という記録が残されている。犬丸屋は萩原氏の、古くからの屋号である。

嘉永三年（一八五〇）

稻積仁右衛門が習字を教えた、という記録が残されている。

嘉永六年（一八五三）

福嶋八兵衛が、よの十三番地で習字を教えていた。との記録が残されている。よの十三番地は、現在の高塚善衛さんの地所の西北になる。

以上の史料以外に、心ある人たちは寺井町の多賀東岳という先生に
ついたと言ふ記録も残されている。

福嶋小学校の開設

明治五年八月

明治政府は、区学校の規則を定め、男女六歳から九歳までを下等小学、十歳から十三歳まで、上級小学校の各級半年毎に進級させ、在学は全部で八年間と決めた。

福嶋小学校

明治五年に明治維新後の新しい教育のために、前記のように学制が決められたが、村々では独自で学校を設ける余裕が無かった。

福嶋は明治五年一月から『加賀国第二十七区五番組』に組織され、赤井・吉原・吉原釜屋とともに湊村と同一の組に入ったために、明治六年三月、湊村旧役所を校舎とした湊小学校に通うことになった。

湊小学校の火災 と福嶋に小学校を開校

明治八年八月、折角通うようになった、湊小学工校が火災によって類焼したため、たの三十二番地に福嶋小学校を開校した。

次いで明治九年十二月に、修成小学校と改称し、十一年七月に、その七十番地の地に移転開校した。

ここは「げんべい山」の松林のある所で、校舎は二階建て、建坪四十坪の瓦葺建物であったそうだ。

若いときの「米沢與三松」が、ここで屋号となる、先生をした。